

3.3 情報社会の課題

(1) 技術の恩恵と新しい問題

新しい技術は、恩恵だけでなく次のような新しい問題をも産み出します。

- ① 技術を利用した製品が正常に引き起こす問題
- ② 技術を利用した製品が停止・誤動作した場合の問題
- ③ 技術を利用した人間の道徳的問題
- ④ 技術を利用できるものとできない者との格差

上記の①と②は「モノ」の問題、③と④は「ヒト」の問題として捉えることができます。

■製品が正常に引き起こす問題

この問題は、まさに高速で大量の情報を保管したり、検索・転送できる情報システムの利点に内在しています。簡単に検索できるので、秘密にしなければならない情報を保護するための配慮が必要になります。高速で大量の事務処理ができるようになったため、事務職員の配置転換や解雇もありえます。一般に電子スモッグと呼ばれる電子機器の電波が、心臓のペースメーカーや車庫の自動開閉装置の誤動作を引き起こすこともあります。

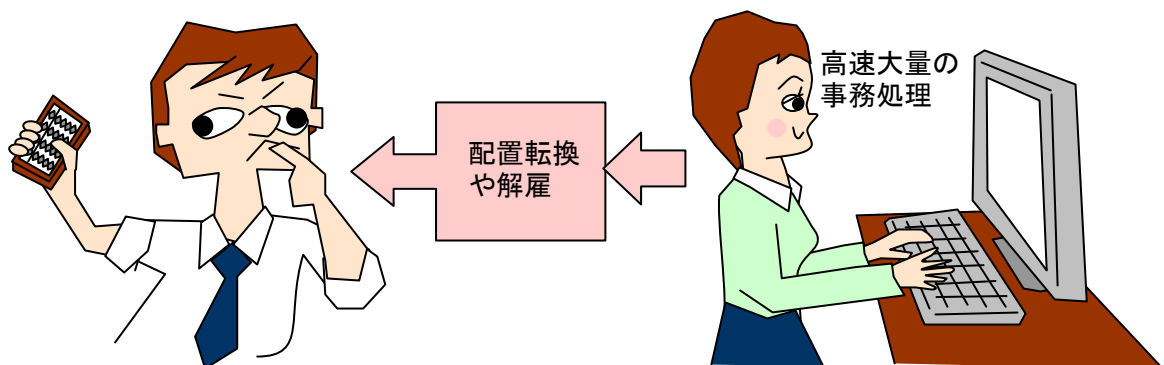


図 3-11 高速大量の事務処理による配置転換や解雇

■製品の停止や誤動作による問題

今、いろいろな家庭電化製品があふれています。たぶん何日も停電が続いたら冷蔵庫が動かなくなり、野菜や肉が腐ってしまったり、電気釜は使えませんからご飯も炊けません。高層ビルマンションに住んでいる人はエレベータが使えなくなり、冷暖房器具も使えなくなります。生活は、大変なことになるでしょう。

同様に、情報技術を利用した便利な製品が普及したせいで、製品が動かなくなると、いろいろな混乱がおきます。産業用ロボットの誤動作における生産ラインの停止、ソフトウェアバグによる自動支払機(ATM)の停止、データ通信回線の火災による銀行業務の停止等の混乱です。

1986 年、ブラジル一般選挙が集計用プログラムミスで混乱しました。英国の統計では、英国産ソフトウェアのエラーにより、毎年 30 件、少なくとも毎年 9 億ドルの損害が発生しているとのことです。2005 年末には、株取引の入力ミスを取り消すことができなかったため、某証券会社が 300 億程度の大損害を出してしまったこともあります。

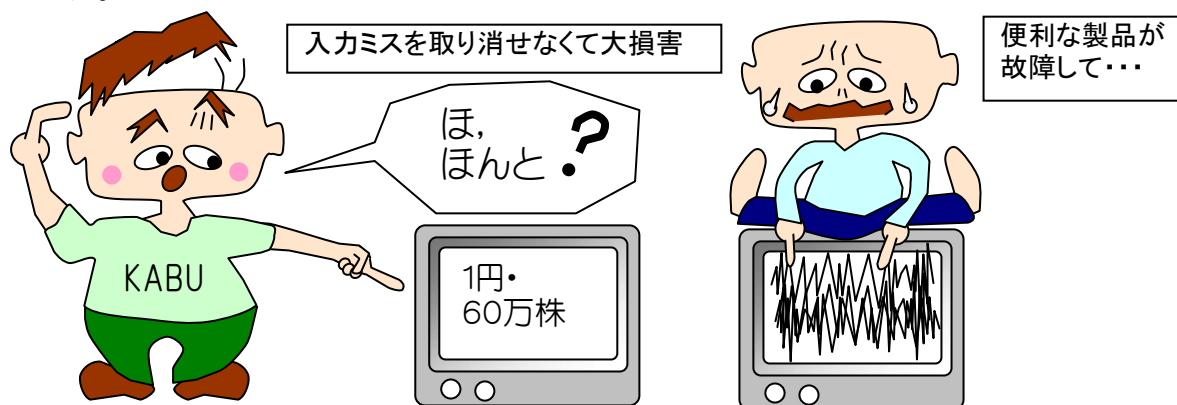


図 3-12 便利な製品が故障して困ったり，うっかりミスで大損害

■人間の道徳的問題

隔離された個室での怒鳴りあいとは、口喧嘩している 2 人だけの問題に留まりますが、人溜まりの中での怒鳴りあいとは、大勢の人に迷惑をかけます。同様に、不特定多数と簡単に知り合えたり、口伝え